鴨川市地域公共交通会議 令和２年度第２回会議

会　議　録

日時：令和２年 11 月 18 日（水）
　　午後２時 30 分から午後５時 24 分まで
場所：鴨川市役所　７階会議室

1　会長及び委員

役職等	所属・職	氏　名	備　　考
会　長	鴨川市 副市長	小柴 祥司	
副会長	鴨川市福祉作業所 所長	竹井 徹	
	日東交通株式会社 常務取締役	平野　直	
	有限会社鴨川タクシー 代表取締役	本多 信介	
	日東交通労働組合 安房支部長（鴨川担当）	佐藤　亮司	
	千葉県鴨川警察署 交通課長	辻 淳	
	千葉県総合企画部交通計画課 企画調整班　班長	渡邉 彰	
	鴨川市校長会 会長	松本 幸雄	
	東日本旅客鉄道株式会社 安房鴨川駅　駅長	遠山 和彦	
	利用者代表	藤本 文子	公募委員
	利用者代表	手塚 治代	

【欠席委員】

役職等	所属・職	氏　名	備　　考
	一般社団法人千葉県バス協会 専務理事	成田 斉	
	小湊鐵道株式会社 事業部長	宮﨑 隆一	
	国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	斯波 恭太郎	
	千葉県安房土木事務所 鴨川出張所　所長	田中 武彦	
	利用者代表	里見 桂子	

2　事務局

所属・職	氏　名	備　　考
鴨川市経営企画部まちづくり推進課　課長	塚越 均	
鴨川市経営企画部まちづくり推進課　課長補佐	藤代 公貴	
鴨川市経営企画部まちづくり推進課　政策推進係　係長	太田　吉紀	
鴨川市経営企画部まちづくり推進課　政策推進係　主査	森 和之	
鴨川市経営企画部まちづくり推進課　政策推進係　主事	加藤 貴啓	

［配布資料］

・席次表，出席者名簿，委員名簿
・資料１　鴨川市公共交通の令和元年度実績について
・資料２　公共交通乗り方教室の開催について
・資料３　公共交通に関するアンケート結果報告書（速報版）
・資料４　地区別カルテ（暫定版）
・資料５　路線別カルテ（暫定版）
・資料６　予約制乗合タクシー運行実績（H30.12～R02.9）

１　**開会**（午後２時30分）　司会　経営企画部まちづくり推進課 塚越課長

・配布資料の確認
・会議の成立、公開及び傍聴者の報告
・交代委員の紹介

２　**会長あいさつ**

（要旨）

ご多用にも関わらず、また、新型コロナウイルス感染症の影響が未だ収まっていない中、本会議に出席いただき感謝する。

また、新たに就任された委員においては、改めてよろしくお願い申し上げる。

そして、このコロナ禍において、市民の移動手段の確保、維持に努めていただいている交通事業者の皆様に厚くお礼申し上げる。

本日の会議では、鴨川市公共交通の令和元年度実績について、公共交通乗り方教室について、日東交通株式会社合併に伴う地域公共交通確保維持改善事業補助金に係る地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について、次期鴨川市地域公共交通網形成計画策定に向けた検討業務における基礎調査結果について、予約制乗合タクシー　令和２年９月までの実績について、報告させていただく。

詳しくは、事務局から説明があるが、忌憚のないご意見をいただけるようお願い申し上げ、会議の冒頭に当たっての挨拶とさせていただく。

３　**議事**　　議長　小柴会長

会長を議長として進行。

会議録署名人として、松本幸雄 委員を指名。

報告案件１　鴨川市公共交通の令和元年度実績について

（事務局から、資料１に即して説明。）

※委員からの補足説明２件あり。

平野委員：ご存知のことと思うが、事業の効率化等を目的として、令和２年10月を以て日東グループ３社は合併し、日東交通㈱となったので、よろしくお願いする。

また、バスの実績について、令和元年度まで高速バスの利用は順調に推移してきたものの、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく

受けている。鴨川東京線がようやく例年の５割程度、路線バスは６～７割程度に戻ってきたが、依然として厳しい利用状況となっている。

遠山委員：江見駅、太海駅、安房天津駅の３駅については、無人駅となったことから、平均乗車人員の正確なデータが取れないため、公表できなくなった。また、鉄道においても新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、令和２年度の安房鴨川駅の１日平均の乗車人員は1,000人を下回る可能性がある。普通列車、特急列車ともに、現在の本数を維持するべく努力しているので、利用いただくようお願いする。

報告案件２　公共交通乗り方教室について

（事務局から、２に即して説明。）

※委員からの質問１件あり。

藤本委員：公共交通乗り方教室は親と一緒じゃなく、一人で乗れるようになるための訓練ということで良いのか。

事 務 局：一人は勿論、友人同士等での利用も想定している。

報告案件３　日東交通（株）合併に伴う地域公共交通確保維持改善事業補助金に係る地域内フィーダー系統確保維持計画（R2.10月～R3.9月分）の変更について

（事務局から鴨川日東バス（株）が日東交通（株）と合併したことに伴う当該計画の変更について、令和２年９月30日付けで国土交通大臣宛届出を行った旨、説明。）

※委員からの意見等はなし。

報告案件４　次期鴨川市地域公共交通網形成計画策定に向けた検討業務における基礎調査結果について

（事務局から、資料３、４、５に即して説明。）

※委員からの意見３件あり。

藤本委員：運転免許を返納している身としては、少なくとも現状の公共交通を維持して欲しいと切実に思う。

手塚委員：資料を見て、鴨川市の公共交通の現状を改めて知ることができた。アンケート結果の自由記述を見ると、市の取組みについて知らない人がとても多い。折角、色々取り組んでいるのに勿体ないと感じる。広報誌等により周知しているものの、読んでいない人が多いと思われることから、周知方法は工夫が必要である。

事 務 局：ご指摘のとおり、周知方法を工夫する必要があると考えている。検討のうえ、皆様にご相談させていただくので、よろしくお願い申し上げる。

渡邉委員：次期計画策定に当たっては、市としての計画の位置づけを考慮するとともに、事業者との調整を十分に行っていただきたい。

議　　長：委員の皆様におかれましては、後日でもご意見等があれば、事務局までお申し出いただきたい。

報告案件５　予約制乗合タクシー　令和２年９月までの実績について
（事務局から、資料６に即して説明。）

※委員からの意見２件あり。

議　　長：説明のとおり、利用が少なく、運行継続条件に達していない。
近々、形を変えるなどして運行を継続するのか、実証実験としては一旦終了するのか、何かしら判断が必要となる。次回会議で事務局から何かしら提案があるので、よろしくお願いする。

本多委員：運行継続条件には届いていないものの、令和２年度から運賃引き下げや複数回利用割引の導入等、運行内容の変更後、利用は増えてきている。

辻 委 員：おどや鴨川長狭店での交通安全運動において、予約制乗合タクシーのパンフレットを配布したが、当該タクシーを知らないという方や高齢者しか利用できないと思っていたといった声があり、まだまだ周知の余地があるように感じた。予約制乗合タクシーは、高齢者による交通事故を減らすことに非常に有効であるため、今後も周知等に協力する。

４　その他

事務局　：次回会議（第３回会議）日程について、12月中旬から下旬の開催を予定している。予約制乗合タクシーの運行継続の可否等について、ご協議いただきたいので、よろしくお願い申し上げる。

５　閉会（午後５時24分）

以上

令和３年１月26日

会議録署名人　　松本　幸雄